



学校だより 第1号

はんばら



学校教育目標
心豊かに
すこやかに



令和4年4月号①
愛川町立半原小学校
学校長 佐野昌美

学校HP →



「おもしろ学校開校記念日」

始業式、朝礼台に立つと、半原小学校の子ども達の視線が集まりました。

私は、懐にしのばせてあった巻紙を取り出して、次のように話しました。

「校長先生がつくりたいのは、こんな学校です。」

少しずつ紙を広げていきます。最初に見えたのは「校」の一文字。子ども達は、首をひねりながら少しずつ明かされる文字を読み上げます。

「校?」「学校・・・?」「しろい学校・・・??」「おもしろい学校!!!」

子ども達が巻紙に書いてある言葉を読み上げたところで話を続けました。

「おもしろい学校をつくります。日本一おもしろい学校をつくりましょう。」

子ども達の顔が少し晴れやかになりました。

「でも、先生達だけがいくら頑張っても無理です。みんなのアイディアとチームワークが必要です。みんなの力が必要です。おもしろい学校をつくるために協力してくれる人は、手を挙げましょう!」

ほぼ全員の子どもの手が、すうっと青い空に伸びて行きました。

「これからみんなで、本気で日本一おもしろい学校をつくり始めますよ。今日を『おもしろ学校開校記念日』にします!」

こうして、始業式の校長の話を終えました。

半原小学校長 佐野昌美



佐野昌美 〔校長〕



iPadを活用した先端授業、「懐かしの学び舎」や150年の歴史を大切にする風土、コミュニティ・スクールやインクルーシブ教育で人との関わりを大切に作る姿勢、そして、温かい保護者と地域の方々…半原小の強みを活かした学校経営をします。おもしろい授業やおもしろいイベントで、子ども達がわくわくする学校を目指します。

〔通級教室担任〕



花いっぱい、美しい環境の中で初めて子ども達と出会いました。礼儀正しく明るく元気!という印象です。着任式で、好きな教科や得意なことを話したときの素直なリアクションもうれしかったです。半原小学校で皆さんと関わることでできる貴重な時間を大切に、笑顔で過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

〔1年1組担任〕



異動することを聞きつけた知人からは、中津から半原?増山さん…ますます山奥の、空気がきれいで自然豊かなところに行くのね!なんて驚かれました。半原小学校には、かわいい子ども達や心強い保護者・地域の方々、あたたかい先生たちがいると聞き、とても楽しみにしていました。空を眺めたり、温泉に入ったり、山に登ったりすることが大好きな私は、この半原の地でどんな出会いが待っているのか、わくわくしています。

〔学習室担任〕



10年以上前ですが半原小学校に勤務していました。緊張して初登校すると、子ども達の笑顔と元気なあいさつで緊張がほぐれました。これから始まる学校生活、わくわくします。子ども達にコロナ禍においても素敵な思い出が残るようにお手伝いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

〔学習活動 サポーター〕



私は半原小学校の窓から見える景色がとっても大好きです。このすてきな景色に囲まれながら皆さんとお勉強したり、遊んだりできるのがとても楽しみです。

〔インクルーシブ サポーター〕



みなさんとおしゃべりするのが大好きです。たくさん話しかけてくださいね





学校だより 第2号

はんばら



令和4年4月号②
愛川町立半原小学校
学校長 佐野昌美

学校HP →



「一人一人 違う種を持つ」

4月6日の入学式。半原小学校の仲間入りをした新1年生の子ども達と、保護者の皆さんに、次のような話をさせていただきました。

「ご覧ください。校門の前のチューリップ、2年生が育てたチューリップが、1年生の入学をお祝いしているかのように咲いています。」
体育館ステージ上の大スクリーンに右の写真を映し出しました。

「さて・・・1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。校長先生からお話をします。1年生の皆さんが小学校に入学して初めての授業です。しっかりとお話が聞けますか。背中をぴしっと伸ばして、手を膝の上においてお話を聞きましょう。そう。とっても上手です。」
ちよっぴり緊張気味の1年生はすっと背筋を伸ばしました。

「まずは静かに歌を聴いてみましょう。今から90年前1931年に作られた歌です。もしも、知っている歌だったら小さな声で歌ってみてもいいですよ。」

ここで童謡『チューリップ』の歌を流しました。

「校長先生はこの歌の『どのはなみても きれいだな』というところが大好きです。『赤、白、黄色、大きな花、小さな花、どの花もきれい』というのは、歌を作った近藤宮子さんの、『子どもたち一人一人、みんな素敵なおところがある』というメッセージが込められていると思うからです。1年生のみなさんは、みんな違った良いところがあります。入学したらその良いところを伸ばして花を咲かせてください。」

半原小学校長 佐野昌美



「サッカーが上手で花丸、元気に歌を歌って花丸、しっかりお勉強をして花丸、きれいな絵を描いて花丸、いろんな人と仲良しになって花丸、どんなことでも一生懸命にやり続ければ、きっと花丸になります。」

ここで、保護者への話に切り替えました。

「さて、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。チューリップの童謡から72年後の2003年、この歌が大ヒットしました。」

SMAPの名曲『世界で一つだけの花』の一部を流しました。

「この歌を作詞作曲した槇原敬之（まきはらのりゆき）さんも、同じように花を見て、一人一人違った良いところがあるというメッセージを歌に込めたのではないのでしょうか。『一人一人違う種をもつ』、半原小学校で、世界に一人だけのお子さんをお預かりします。そして、それぞれの種がそれぞれ素敵な花を咲かせるよう、一生懸命努めてまいります。」

子ども達は最後までしっかりと話を聞いてくれていました。

「半原小学校は、インクルーシブ教育研究指定校です。一人一人を大切にす
る学校です。教職員一同、知識の水をたっぷりと注ぎ、肥やしとなる体験
をあたえ、愛情の光を照らし、子どもたち共に成長してまいります。学校
と家庭と地域が協力すれば、大輪の花が咲き誇る。そう信じて、以上、校
長の話とさせていただきます。」



「おもしろい入学式」

「半原小学校はおもしろそう！明日から学校に通うのが楽しみ」と1年生に思ってもらえるように、入学式での1年生担任のあいさつを工夫しました。



まずはO×クイズ。その第2問は「小学校でお勉強をするといろいろなことができるようになる。Oか×か？」です。正解はもちろん「O」。

その後、先生達による「できるようなること」の例示。チョコちゃんのカスタネット演奏、バスケットボールシュートやサッカーのボレーキックの披露。ただし、ボールもゴールも紙製。そして、体育の得意な先生のリアルなバク転の披露まで行いました。

1年生がにこやかになったところで「半原小学校は日本一おもしろい学校なんだから！明日から一緒に頑張ろう！」と担任の言葉で締めました。